

自動乳鉢 AGB を用いてガラス塊を粉碎した際の粒度分布について

株式会社石川工場

【概要】

自動乳鉢 AGB を用いてガラス塊を粉碎した際の粒度分布測定を行った。
一般的な顕微鏡用スライドガラスを 3.5mm 程度に破碎したのち、自動乳鉢 AGB で粉碎した。粉碎時間は、5 時間。粒度測定は、レーザー回折装置を用いた。

【背景・目的】

石川工場で生産している AGB 型石川式攪拌搗潰機の搗潰性能を把握するために、ガラス片の搗潰を実施した。

【実験機器】

- ・自動乳鉢（AGB 型石川式攪拌搗潰機 ）



- ・(株)堀場製作所 レーザー回折／散乱式粒子径分布測定装置 LA-950V2



【結果】

① 粉碎前後の様子

粉碎前のガラス塊

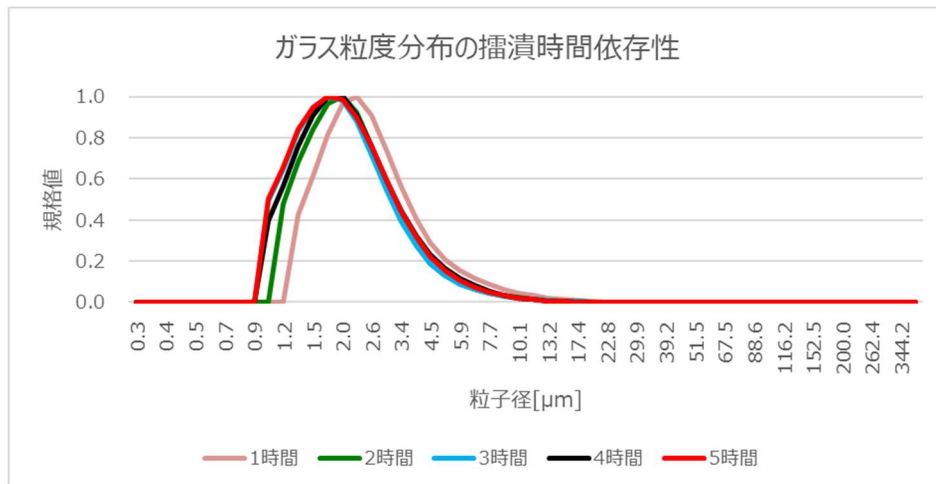


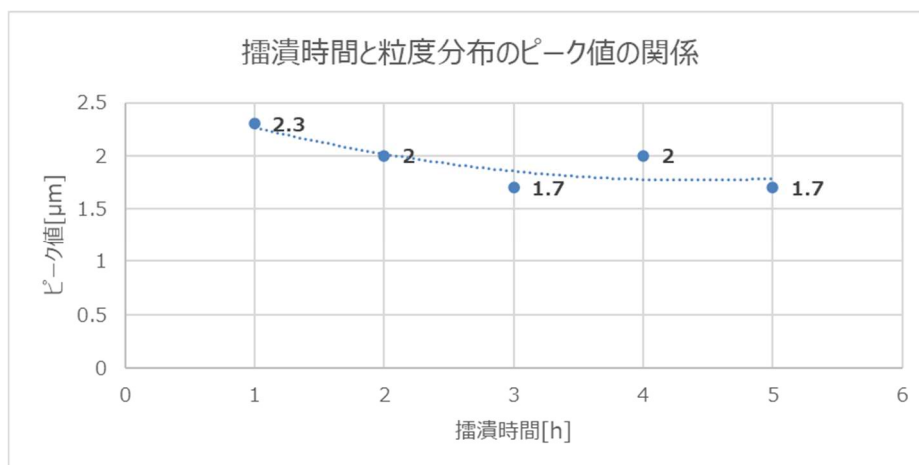
5時間粉碎後のガラス粉



粉碎動画QRコード

② レーザー回折測定結果





③ 結論

一般的な顕微鏡用スライドガラスを 3.5mm 程度に破碎したガラス片を石川式攪拌播潰機 AGB 型を用いて破碎すると、3 時間程度で飽和し、凡そ $1.7\mu\text{m}$ 程度に迄、破碎することができる。